



年 組 名前

道新でワークシート

「女性なのによい」はけなしです

マイクロアグレッションの主な例		暗に伝わるメッセージ
ジェンダー(女性)	男性のパートナーと(高額)買い物に行った時、店員に話しかけられない	意思決定者ではない
	自分だけ「ちゃん」づけで呼ばれる	軽く扱ってもいい
	アシスタントとして扱われる	女性はサポート役である
有色人種	サービスを受ける際に後回しにされる	ぞんざいに扱ってもいい
	買い物の間、店員に監視される 道を歩いている時やエレベーターに乗っている時に警戒される	犯罪予備軍、危ない人である
外国人	「日本語うまいですね」と言われる。「本当はどこ出身?」と聞かれる	あなたはこの国の人ではない、よそ者である
LGBT	「気のせいだよ。そのうち治るよ」と言われる	病的である。あなたの経験はさほど重要ではない
	なんとなく距離を置かれる	普通ではない

※藤原快瑤・東京大特任研究員による

マイクロアグレッションは1970年代に、米国で精神科医が人種問題と精神衛生の研究の中で提起したとされる。ブラック・ライフズ・マター(BLM)黒人の命も大事だ。運動などを機に、あらためて注目されるようになってきた。

黒人らが経験する具体例としては「買い物中、店員が監視しているように感じる」「レストランでいい席に通してもらえない」「エレベーターに乗っていると白人が乗ってこない。乗り込むと荷物に手をかけて守ろうとする」など。生涯に

わたり繰り返し経験する「小さな攻撃」だが、ヘイトクライム(憎悪犯罪)など深刻な被害の引き金にもなりかねない。国内でも、在日コリアンなど日本で生まれ育った外国人が「日本語うまいね」と言われるのは一つの例。

性別・人種 自覚なく傷つける言動

「女性なのによい」「日本語お上手ですね」。つかけてしまう言葉に、特定の人たちを見下げる意識が隠れていることがある。「マイクロアグレッション」(小さな攻撃やけなし)と呼ばれるこうした言動について、学ぼうとする動きが出てきた。もともとは人種差別の観点から捉えられてきた問題。性別、性的指向など日常生活のあらゆる場面で発生しているとの見方もある。

マイクロアグレッション学ぶ動き

「日本語ができないに違いない」というメッセージになる可能性があるからだ。マイクロアグレッションに詳しい立命館大の金友子准教授は「セクハラやパワハラなどと重なる部分があるが、違うのは多数派の立場から特定のグループに向けられているかどうか。多数派の人は特に気づきにくい」と解説する。

「疑問に思ったら自分がどう感じたかを伝え、相手に気付かせることが解決に向けた第一歩。企業内での研修なども有効だ」と話した。

マイクロアグレッション 日常の中にあるありふれた言葉や行動に現れ、意図的かどうかにかかわらず、特定の集団などに対し、人種や性別、ジェンダー、性的指向を軽視したり、侮辱したりするような否定的な表現。加害者は自分が相手をおとしめるようなやりとりをしたことに気付いていないことが多い。

2022年5月13日(金)朝刊 全道版 26ページ(記事は再編集しています)

①「マイクロアグレッション」とはどのようなものですか、1つ例を挙げて書きなさい。

②記事の例以外に、気付かずに差別的な表現や行動になっていることを1つ挙げなさい。